

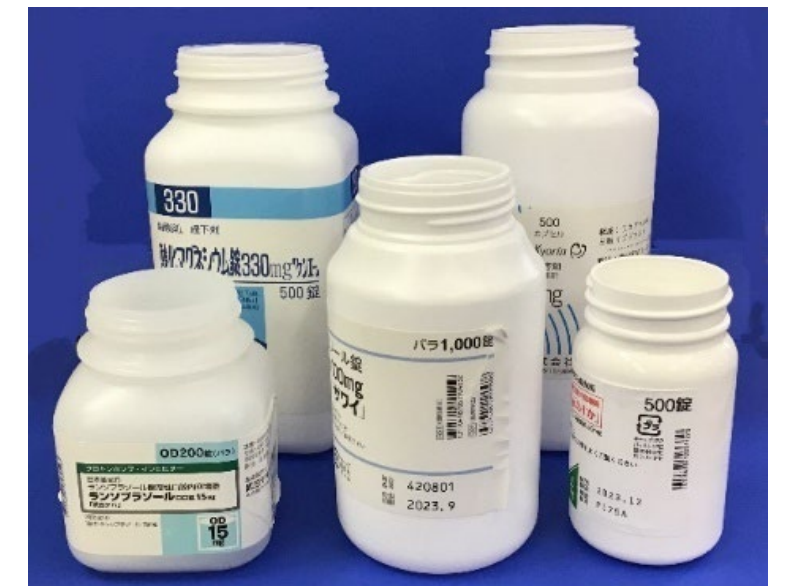
医薬品ボトルの資源循環の推進

～医薬品ボトル由来の再生製品と医薬品ボトルの環境配慮設計ガイドを作成～



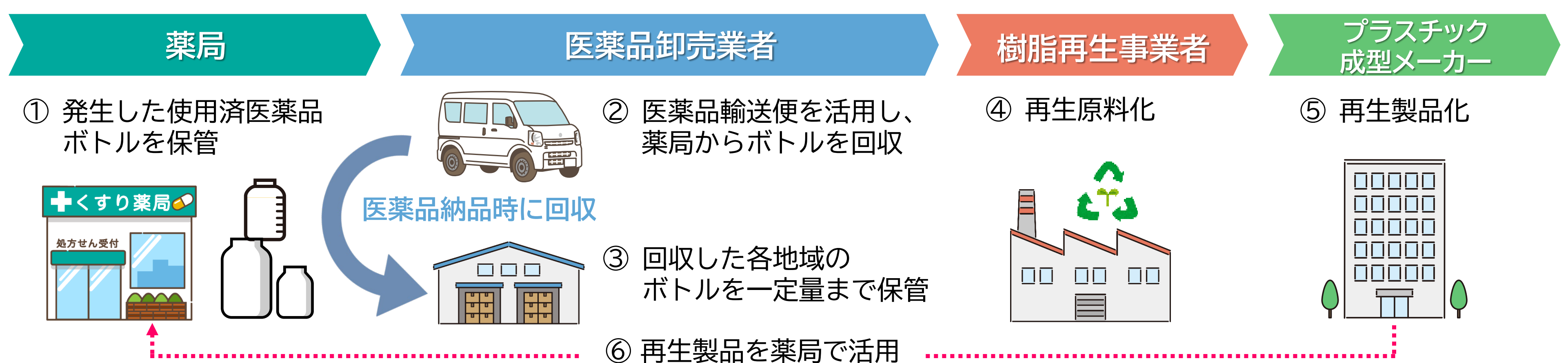
使用済医薬品ボトルとは

- ・薬局で調剤後に空となった医薬品ボトル
- ・高齢者用の錠剤の一包化に伴い、薬局内で多く発生しているが、現状ではリサイクルされずに焼却処理している



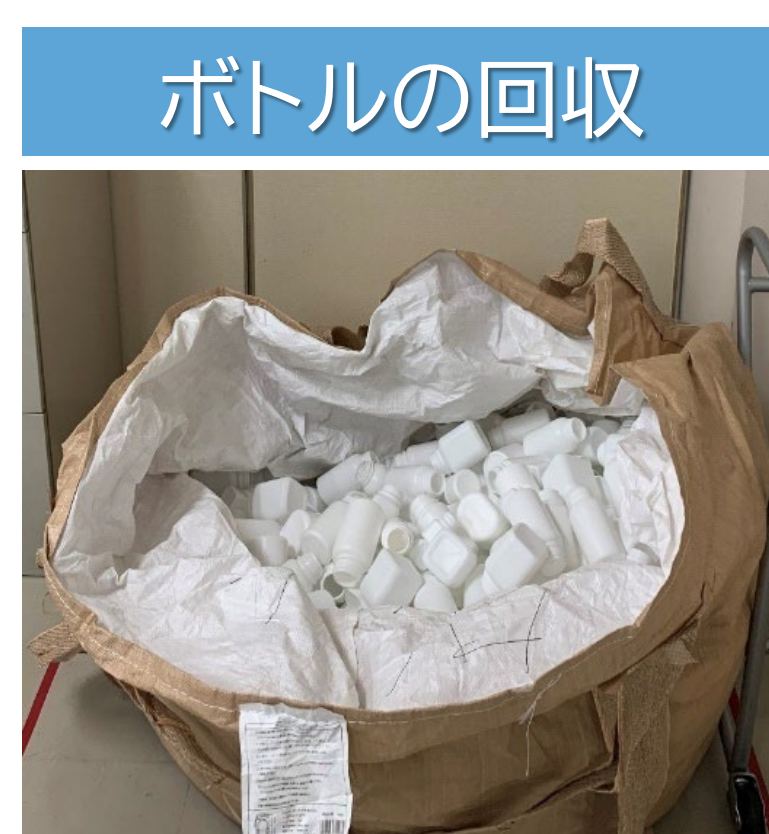
使用済医薬品ボトルの回収・再資源化事業 実施スキーム

(公社)福岡県薬剤師会の協力のもと、令和4年10月から6年9月まで一部地区の会員薬局で使用済医薬品ボトルを回収



取組結果

- ・事業期間中に1.7トンの使用済医薬品ボトルを回収し、樹脂再生事業者で再生原料化を実施
- ・大日本印刷(株)の協力のもと、作成した再生ペレットから「おくすり手帳カバー」と「組み立てお薬ボックス」を製作



ボトルの回収



再生原料化(ペレット化)



再生製品化

おくすり手帳カバー(左)
組み立てお薬ボックス(右)

- ・この実証事業で得られた知見などを基に、「プラスチック製医薬品ボトルのリサイクルに向けた環境配慮設計ガイド(最終案)」を作成。

- ・ボトルを構成する各部材の材質、色、形状等について、具体的な設計指針を提案。

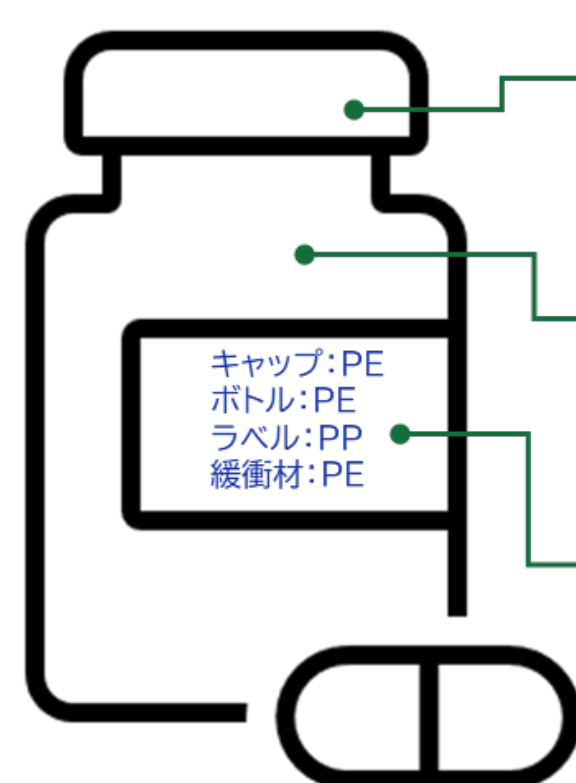
ガイドの全体版や事業概要は、こちらをご確認ください



ガイド(最終案)



事業概要



キャップ	・色:白または透明のできる限り着色されていないもの ・ピルファーフールキャップ(バンドがボトル側に残るキャップ)を使用する場合は、リサイクル時にバンドが外しやすい構造
ボトル	・素材:HDPE ・色:白または半透明のできる限り着色されていないもの ・形状:緩衝材や防湿剤を素手やピンセットで取り外すことができる口径、構造
ラベル	・輸送時から使用終了まで剥がれず、人の手で容易に剥がすことが可能 ・分別の判断のため、各部材の識別/素材表記がある
防湿剤・緩衝材	・防湿剤、緩衝材は、素手やピンセットで容易に取り外し可能



公益財団法人
福岡県リサイクル総合研究事業化センター

〒808-0135
北九州市若松区ひびきの2番1号 産学連携センタービル4階
TEL.093-695-3068 FAX.093-695-3066
<http://www.recycle-ken.or.jp/>